



富士塚



令和7年1月31日第10号

青梅市立新町中学校

校長 小熊 克也

2月号

教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

〇寒い時こそ咲かせる準備をする

正門付近の梅のつぼみが日増しに大きくなってきています。この一番寒い時期、開花への準備にいそんでいる梅のつぼみに、小さいのにもかかわらずその逞しきや神秘的なものを感じます。そして、ここぞという時に、可憐で芳香な美しさを放つ梅の花に変貌を遂げます。この写真のつぼみは、今の3年生の心境に重なるかもしれません。同じ木の梅でも早咲きもあれば遅咲きもあります。最後は皆、咲かせます。「雪に耐えて梅花麗し」とも言い、寒さが続けば、咲くのは遅くなりますが、その分、この上なく咲き誇ります。



新町中正門付近の梅のつぼみ 1/21 撮影

さて、そうは言っても苦しい現実には、梅のつぼみに自らを重ねられないという人もいると思います。そこで、校長が3学期始業式に述べた言葉を思い出してみてください。幕末の長州藩士・吉田松陰の「逆境を楽しむ」のくだりです。松陰は日本に迫る欧米列強への強い危機感と何とか劣勢を挽回したいという熱い思い、だからペリーの黒船艦隊に乗り込んでアメリカ留学を熱望した松陰の志に思いを馳せてみたいと思います。苦労の言葉だから説得力があり重みがあるというお話をしました。これを感じ入った3年生も素晴らしく私の師です。私もこの言葉で自分の状況を気付かされ励まされました。正に「我以外、皆、我師」とも感じています。苦労していること、不安に思っているのは3年生だけではなくありません。1・2年生も同様です。人間関係の悩み・やるせなさや学年を問わず存在しています。また、それぞれ次の学年のゼロ学期という、未知なる恐怖も薄々感じている生徒もいることでしょう。このような時こそ、上手くいっていない時こそ、「逆境を楽しむ」という言葉の意味を深めるとともに、本物に学ぶ会（R6.12.14）で講師の白井さんが言っていた「いつでも、どんな時でも、自分が自分のヒーロー」と言う言葉を思い出しながら頑張りたい。また、松陰は松下村塾の塾長の立場でもあり、多くの友人、先生や門下生（生徒）に恵まれ、よく相談し議論を重ねたといひます。生徒の皆さんの周りには良き保護者、先生がいます。自分の努力がまずは大事ですが、それでも上手くいかない時は、よく相談することをお勧めします。この3学期はゴールであり、スタートの時期でもあるので、多くのエネルギーが必要となります。その充電の仕方を、上記のことを参考に十分工夫してください。

3学期始業式では、生徒会副会長の2D 稲葉ゆいさんからとても充電できる、励まされる言葉をいただいたので再確認します。青梅学の視点からも語っていて、とてもすばらしかったです。

みなさん、おはようございます。生徒会副会長の稲葉ゆいです。みなさんは充実した冬休みを過ごすことはできましたか。いよいよ今日から3学期です。1年生は、明日からスキー教室ですね。怪我をせず、安全に楽しんでください。2年生は、2月に東京校外学習があります。マナーを守ってさまざまなことを学びましょう。どちらの行事も青梅と比較し、よりよい青梅をつくっていく気持ちを育んでいきましょう。そして3年生の先輩方は、受験まであと少しです。これまでの努力が報われることを心から願っています。残りの3カ月間、今のクラスで過ごせる最後の期間です。大切に過ごしていきましょう。

〇2月・3月初旬の学校ポイント

（1）明日2／1土は道徳授業地区公開講座です

今回は「いじめ防止」がテーマです。講演会では、いじめ問題で対応してこられた専門の弁護士を招へいます。意見交換会も併せて、奮ってご来校ください。

	3年生	1・2年生	保護者
朝8:20~8:25	朝学活		受付
①8:35~9:25	道徳授業	通常授業	授業見学 （各教室）
②9:35~10:25	講演会	道徳授業	
③10:35~11:25	通常授業	講演会	講演会（体育館）
放課後	感想記入・終学活 11:40完全下校		意見交換会 （体育館）

(2) 2/10月は(多くの)私立高、2/21金は都立高の一般(一次・前期)入試です

都立高校推薦入試の発表1/31を迎えましたが、入試は続きます。最後まで諦めることなく、自分のつばみをしっかりと咲かせるよう頑張ってください。インフルエンザ等に用心し、体調管理に万全を期してください。

(3) 2/26水から学年末考査です

定期テストは年度内に5回ありますが、いよいよ最後の回となる学年末考査です。1・2年生は進級した時に良いスタートを切るため、3年生は9年間の義務教育の総決算と言ふべき意味合いがあります。それぞれの重み・意義を感じ取って、計画的に取り組み、悔いを残さないよう、こちらも頑張ってください。

初日：英、技家、音

2日目：国、理、美

3日目：数、社、保体

(4) 保護者会があります(1年3/6木、2年3/5水)

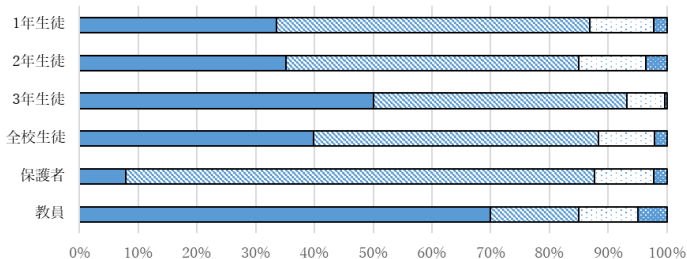
年度末を迎えようとしています。今年度本校での教育活動の成果と課題等を説明させていただきます。別途ご案内いたしますが、各保護者会とも3時開始を予定しています。5校時は当該学年の授業参観も可能です。ご多用の折、恐れ入りますがご予約・来校いただきますようお願いいたします。体調不良等がある場合はご連絡ください。

○ 学校評価(自己評価)結果について

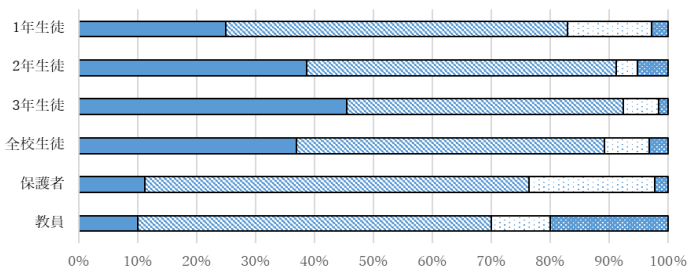
昨年11月にお願ひしました保護者アンケート、生徒アンケートへのご協力ありがとうございました。以下のグラフは、生徒一保護者一教員の三者比較です。これらに基づいて学校評価自己評価を別紙のとおり行いました。(学校評価シート)現在、見直しを進めており、来年度の学校経営方針、教育活動計画等を改訂しているところです。また、自己評価を用いて学校関係者評価(第3回【R7.2.14】学校運営連絡協議会)を行った上で、最終的な意思決定を行う予定です。

凡例：■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

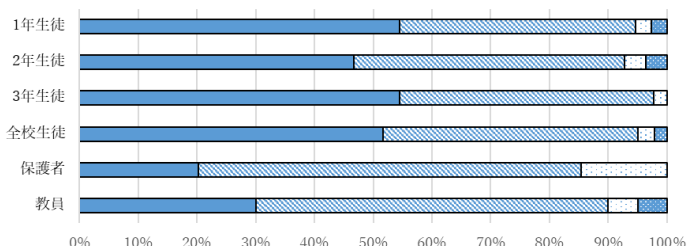
1 教科の授業では、生徒の自立を目指す主体的な学習や対話的な学習がよく行われている。



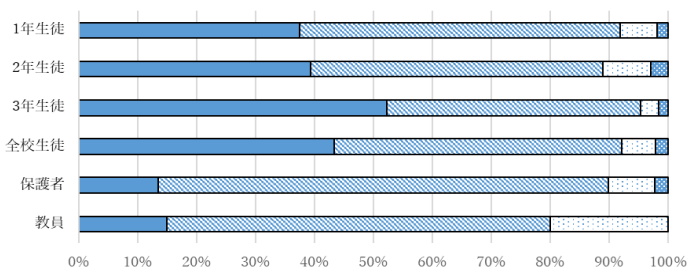
4 数学の学力向上のための取り組みは、よく行われている。



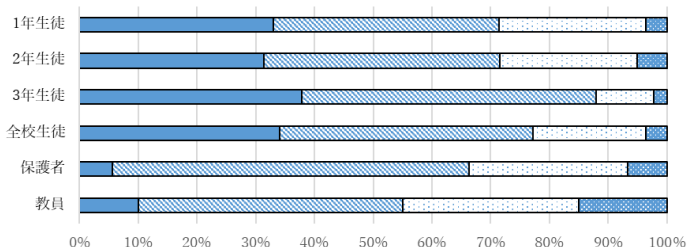
2 教科の授業では、電子黒板(大型モニター)や生徒個々に配布されているタブレットが多く活用されている。



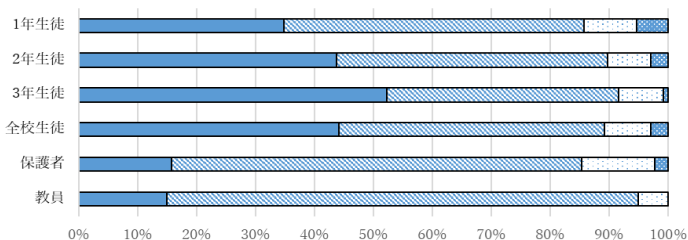
5 学校からの校則の周知や意義、方針を確認し、関心を寄せている。

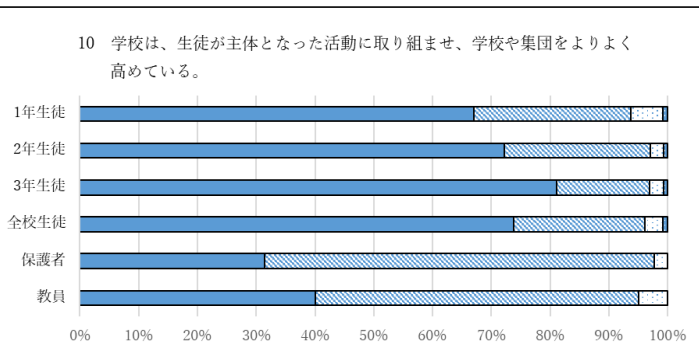
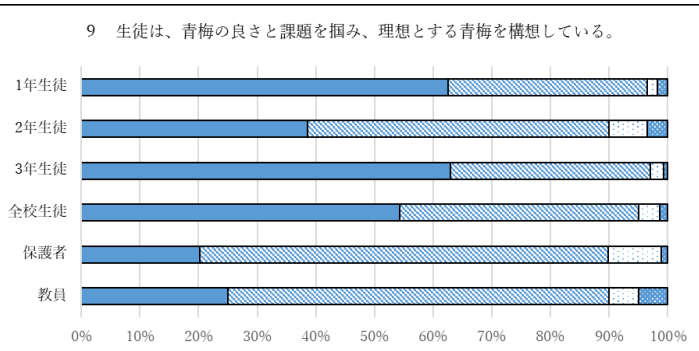
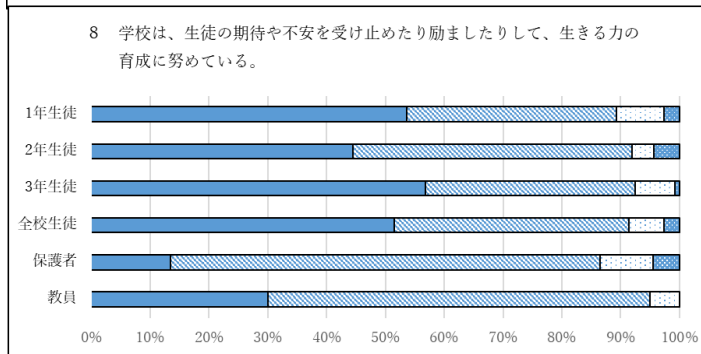
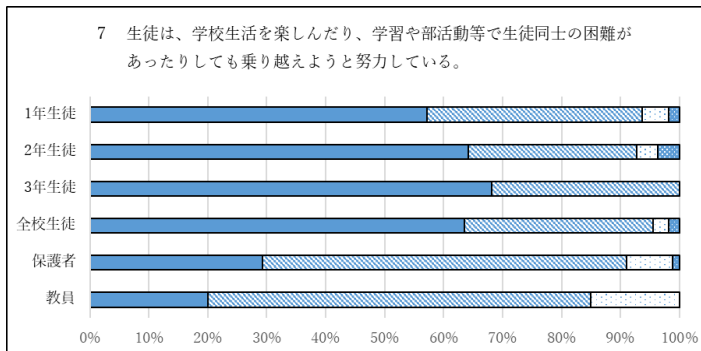


3 家庭学習として、授業ノートをまとめたり、調べ学習を行っている。(5教科)



6 ボランティア活動や生徒会いじめゼロ運動等に積極的に参加し、学校や地域の環境をよくしようと努力している。また、セーフティ教室や道徳の授業等を受けて、命や環境の大切さに気づき、いじめや暴力をなくそうと努力している。





お知らせ

～受賞おめでとうございます～

令和6年度 青梅市明るいポスターコンクール 青梅市明るい選挙推進協議会賞（優秀賞） 2C〇〇〇〇〇さん

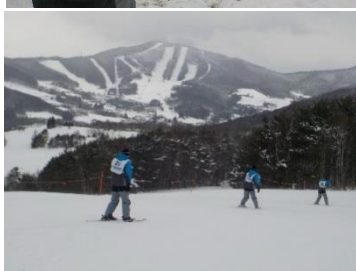
令和6年度 中学生人権作文コンテスト 東京都作文委員会賞 「自分らしく生きる」 1A〇〇〇〇〇さん

大多摩会長賞 「自分の発言に」 1A〇〇〇〇〇さん

青梅市人権擁護委員賞 「平等なら天秤は傾かない」 1B〇〇〇〇〇さん

〇1月の学校の様子

（1）1年スキー教室の思い出1／8～10



実行委員の説明



借り人競争



熱唱①



熱唱②



熱唱③



熱唱④



レク大会

熱唱とダンス



おめでとうございます 吹奏楽部
東京都中学校アンサンブルコンテストで銀賞1/19



部活動名	大会名	団体／個人	大会日	対戦校	勝敗結果	
陸上	第63回東京都中学校ロードレース大会	個人	1月19日			・男子2・3年2km競走 第5位 2B ・女子2・3年2km競走 第8位 2A
サッカー	研修大会	団体	1月11日	青一	負	
			1月12日	羽一・三	勝	
			1月25日	あきる野東	引き分け	
吹奏楽	第58回東京都中学生アンサンブルコンテスト	団体	1月19日			銀賞

2月・3月初旬の予定

★給食あり、ST：ステップアップクラス（放課後補充教室）

月	火	水	木	金	土・日
3★	4★	5★	6★	7★	8・9
1・2年ダンス授業始	生徒朝礼 安全指導 SC あゆみ教室	ST	技・家作品展始 (中央図書館)～2/10	部活再登校 16:30 SC ST	
10★	11	12★	13★※	14★	15・16
都内私立高一一般入 試始	建国記念の日	部活再登校 16:00 ST	2年東京校外学習 (※昼食は現地利用) あゆみ教室	避難訓練 SC 学校運営連絡協 議会(学校評価) ST	16 青梅マラソン
17★	18★	19★	20★	21★	22・23
1・2年ESAT-J	SC あゆみ教室	部活再登校 16:00 ST		都立高一一般入試 (一次・前期) SC ST	23 天皇誕生日
24	25★	26	27	28★	3月 1・2
振替休日	SC	学年末考查 (英・技家・音) ※給食なし	学年末考查 (国・理・美) ※給食なし	学年末考查 (数・社・保体) 専門委員会 ST	
3月 3★	4★	5★	6★	7★	8・9
都立高一一般発表 (一次・前期) 中央委員会	全校朝礼 SC あゆみ教室	1・2年発表 2年高校学習会 (高校の先生来校) 2年保護者会 ST	1年保護者会 あゆみ教室	1年10-17ク講演会 3年球技大会 SC ST	

※お子様のことでご相談がある場合は、教員のほか、スクールカウンセラー（SC）もぜひご利用ください。
（アポイント先：副校長、養護教諭：電話 0428-31-0411）

※パラアスリートとの体験学習・講演会は3/4火⇒3/10月へ変更になりました。

予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

青梅市立新町中学校 令和6年度 学校評価(自己評価分)

- 評価基準 90%以上達成 A、 70%以上達成 B、 50%以上達成 C、 50%未満 D とする。
- 自己評価方法 ※保護者及び生徒アンケートも加味し、評価する。(教員50%、保護者25%、生徒25%)

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価%	分析結果	改善策
進んで学ぼう	Agency教育に基づく自立を目指す主体的・対話的で深い学びの実現	【学習指導力の向上】授業改善でなく授業改革を進める。自立を目指す学び、教師主導でなく生徒が切り拓く授業を20%以上	①青梅市校内研究指定校発表年度としての研究を推進し、教科部会・学年会・管理職授業観察等での協議を深め、研究主題「Agency・AARサイクルをもとにした自立を目指す主体的・対話的で深い学びの授業追究～OECD学びの羅針盤2030の提唱より～」を実現・発表する。	B 75.0	10/25 に研究発表を滞りなく行い、公開することができた。 AARサイクルのA1【見通し】では、課題が多く未解決な部分がある。また、そもそも1単位時間の中でAARサイクルを回す困難もある。これらの課題解決を行ってAgency教育を推進していく必要がある。	A1【見通し】の諸課題は、「学びの選択」に集約する方向で検討を重ねる。AARサイクルは小単元等、まとまりのある中で柔軟に回していく必要があるが、いずかにしても教師主導でなく生徒が主体・解決していく授業を引き続き目指す。
			②ICTの活用：電子黒板、タブレットパソコン等の使用の日常化を図る。(受験5教科は週2回以上、実技教科週1回以上)	B 80.0	おおむね達成できている。ICT機器使用の目的は生徒の知識や思考等を高めるツールであることを再確認する必要がある。	ICT使用率の一定規模を維持した上で、生徒の学力向上を高めるための使用例を研修し、利活用できる資質・能力を高めていく。
			③自立的家庭学習を生徒に課し、受験5教科で、毎授業ごとに授業ノートまとめ・演習等を行わせ、授業で何を学んだのかを俯瞰させる。	C 67.5	生徒の思考力等を高めるために、ノートまとめ等を2年間継続して生きたが、3者共に課題意識をもっている。特に保護者からの評価は低く、根本的にあり方の再定義が必要である。	生徒にとっては取り組みやすい方法の提示、保護者にとっては具体的に後押しのできる対応、教員にとっては持続可能な方法が必要である。また小学校との連携も視野に入れる。
			④数学の学力向上への取組:3段階の習熟度別クラス編成授業、朝学習週1回以上、1・2年定期考査数学結果を踏まえた課題解決シートに基づく生徒実践、1年学力調査の実施等	B 70.0	本校の積年の課題である数学の学力向上策の一環として、今年度初めて創設したが、取組としてはおおむね妥当である。今後は成果を出していくことが求められる。	次年度以降も継続して、結果を出していく必要がある。
美しい心を育てよう	Agency教育に基づきVUCA&Diversity&&Inclusion時代に生きる力を育成する。		⑤Agencyを引き出す校則の見直しをルーチン化し、現行及び未来の校則に関心をもちたせるとともに生徒の参画意欲を引き出す。(第Ⅲ期)	B 77.5	今年度から校則の点検・見直しについてルーチン化することができた。生徒の関心は高いが、ルールが守られていない実態があり、当事者として意識・行動が弱い。	教員も生徒もこれまでの改定経緯や改定方法について深く共通理解し、お互いが相手の立場を尊重して議論を進めていくことを前提にする。
			⑥いじめ・暴力・自死ゼロを目指し、命や環境の大切さを実感する教育を推進する。(ボランティア活動、セーフティ教室、生徒会いじめゼロ運動、いじめ防止等をテーマにした道徳授業地区公開講座、1・2年修徳的対話講習会等の実施)	B 77.5	予防・発達支持的生徒指導の取組は計画通りできた。しかし、いじめや暴力が発生している事実がある。特にスマートフォン・SNSを介したトラブルが顕著であり、学年を問わず課題がある。古典的ないじめである悪口、落書き等による誹謗・中傷等もある。	・情報モラル教育を1・2年セーフティ教室で継続実施するとともに、例月安全指導でも継続的に指導を行う。 ・青梅警察署との連携強化 SNSによるいじめが発生した場合は、適切に連携する。またこのことを生徒に予告する。 ・SNS東京ルールを基にした家庭ルールの策定・遵守の推進
			⑦長期欠席生徒に年間シートに基づく支援体制を構築する。1週間1回の家庭訪問、リモート授業、別室支援等を行う。他機関との連携も強化し、支援を継続する。不登校担当教員と連携・シェアを図る。	B 80.0	教員と生徒・保護者の設問に若干差異のある内容であるが、取組(努力)指標としての行動力は、ほぼ妥当と判断される。しかし、不登校生徒は20名を超えており、特に90日以上を超える生徒には、学習支援等が不十分な状態にある。	努力指標・行動としては、ほぼ限界に達してきている。従って、現状の対応を継続せざるを得ない。しかし、これでは課題解決にならず、行政の支援が望まれる。具体的にはSWの配置やメタバース登校の認定を行政当局に求めていく。ただし、メタバースは教員不在の中での交流となり管理上の課題がある。
			⑧生徒の不安や期待を受け止め支援したり、生活指導等において生徒の意見表明権を保障したりする場面を日常化する。	B 82.5	本項目は、教員・保護者と生徒との間で乖離が見られる。(10ポイント)生徒の方が、満足度が高い。しかし、教員・保護者はそれより不足と感じている。	生徒の肯定的な受け止め方に満足することなく、引き続き丁寧に寄り添い指導・支援を行う。生徒への意見表明権の保証を確実にを行う。
たくましく休もう(未来を拓こう)	自分と皆の幸福を創造する。		⑨青梅学を通して理想とする青梅を探究することにより幸福な日本・世界を創造する。	B 80.0	生徒の肯定的な評価は87.5%でA評価に迫る勢いである。一方、教員・保護者は77.5%で差が大きい。	教員がまず3年間行う青梅学での認識を深める。また、他地域との比較を通して青梅を多面的に捉えさせる。その上で保護者・地域の方に発信していく。
			⑩自治能力と責任を高める学校行事(運動会、合唱コンクール、宿泊行事、校外学習)、生徒会活動等を行う。	B 85.0	生徒の肯定的な評価が最も高い。(92.5%)教員、保護者も各項目の中で最も高くなっていて、本校の成果となっている。	現状を維持し、行事等を通じてAgencyを引き出して、自治能力と責任を高めていく。
			⑪9年間を見通したキャリア教育、小中一貫教育の推進(職場体験、小6中学校体験授業を含む)	B 75.0	教員の肯定的な評価が低くなっているが(67.5%)、生徒の評価は高い結果となっている。(90.0%)教員は、生徒の自己教育力に課題を感じている。	キャリア教育は引き続き前倒しを意識しつつ、生徒の自己教育力の向上の視点立ってキャリア教育を進めていく必要がある。